

平成 30 年度 研究計画書

Research Plan FY2018

講座名・職名 Course Title・Job Title	ヨーロッパ・アメリカⅡ講座・准教授
氏名 Name	菊池 正和
専門分野 Academic Field	イタリア近現代演劇

平成 30 年度 研究計画（ホームページで公開） Research Plan FY2018 (Post on Website)

主たる研究テーマ Principal Research Subject	マリネッティの劇作法の変化について				
<p>研究計画（400 字～500 字で記入すること。） Research Plan (Approximately 100 Words)</p> <p>1920 年代、30 年代の未来派演劇とその周辺の劇作法を研究対象とし、劇作家や演劇の理論家がどのような手法で上演実践の改革を目指していたのかを考察する。具体的には以下の 3 点を明らかにする。</p> <p>(1) 1920 年代のマリネッティが推進した「連鎖的シンテジ」と呼ばれる手法が、1910 年代に提出していた劇的断片における劇作法や舞台の空間構成にどのような変化をもたらしたのか。</p> <p>(2) それは破壊から秩序への回帰とみなしてよいのか。</p> <p>(3) 同時代の「映像演劇」や「触覚演劇」、「ラジオ演劇」の劇作法は、観客の五感にいかなる刺激を与えたのか。</p> <p>研究方法としては、当時の雑誌や劇評などの一次資料やこれまでの先行研究を文献学的に精査するとともに、現地の研究者との議論を通して再検討を行う。未来派演劇が提出した多様な舞台改革案を再整理し、後の演出法へと定着していく過程を解明するためである。</p>					
共同研究可能な分野 Research Fields feasible for joint research *1	ヨーロッパ 文学（イタリア）	芸術一般（演劇）	地域研究 （シチリア）	外国語教育 （イタリア語）	
キーワード Keywords*2	イタリア演劇	未来派	劇作法	演出	舞台空間